



第52回和水町古墳祭写真コンテスト入賞作品



ムリテ賞（炎を切る）



火巫女賞（クライマックス）



松明行列賞（幻想的な松明行列）



花火賞（古墳祭の華）



熊日賞（火巫女の舞）



石のステージ賞（石の舞台で優雅に舞う）

和水町スポーツ推進委員を募集します

スポーツ推進委員として活動いただける方を募集します。

スポーツ推進委員とは町民の健康づくりのため、町内のスポーツ活動を支え、スポーツ教室やイベントの企画、運営を通して、地域の活性化に寄与する役割を担っています。

応募などの詳細につきましては、社会教育課までご連絡ください。

▶任期：2年

▶募集人数：2人程度 ▶報酬：年間 40,500円

▶応募条件：和水町のスポーツイベントの運営、企画などにご協力いただける18才以上の方（高校生を除く）

<主要なスポーツイベント>

- 郡民体育祭陸上競技の部【5月第2日曜日】
- なごみスポーツの日【10月中旬頃】
- 金栗四三翁マラソン大会【11月第1日曜日】
- 玉名駅伝大会【1月下旬】
- 和水町親善駅伝大会【2月第1日曜日】

<スポーツ推進委員会議>

10回程度／年

(町会議・研修：5回、郡会議・研修：3回、県大会：1回：九州大会：1回)



和水町古墳祭（9/27-28）期間中の祭りの風景、スナップ写真など、祭りの魅力を表現した作品を募集したところ、27名の方から144点の作品をご応募いただきました。厳正なる審査のもと見事受賞されました6つの作品を各賞ごとに紹介します。

消費者教育を実施しました

10月から12月にかけて、講師として消費者教育NPO法人お金の学校くまもとをお招きし、町内の小・中学校で消費者教育を行いました。

小学校では「お金の使い方」をテーマに、中学校では「若者に多い消費者トラブルと相談の仕方」をテーマにグループワークを実施しました。

子どもたちからは、「クレジットカードを使わず、できるだけ現金で支払うようにしたい」「ハプニングが起きたとき、お金をやりくりするのが難しかった」「ものを購入するときは注文前にしっかり確認したい」「困ったことがあったら、誰か信頼できる人に相談できるようにしておくことが大切だと分かった」など、学びの声を聞きました。



▲購入するかどうか考えてみよう



▲1,000円分の1円玉と背比べ

福祉センターでバスの乗り方教室を実施しました

10月9日㈫、12月2日㈫に福祉センターで産交バス(株)玉名営業所の協力のもと、バスの乗り方教室を実施しました。

この取り組みは、路線バス利用に対するハードルを下げるとともに、バスの役割や利用方法を学ぶことで、バス利用の推進による地域公共交通の活性化を目的として開催したものです。

最初にバスの乗降方法、バス停の表示、くまモンのICカードの利用方法などを学び、その後、実際にバスに乗って公道走行を行いました。

公道走行では、緑彩館に立ち寄り、お買い物を楽しむ姿が見受けられました。

参加した方は、「40年ぶりにバスに乗った」「現金は準備が大変だが、ICカードは便利」「色々な場所に行くことができて楽しかった」と述べました。



▲講話の様子



▲実際にくまモンのICカードを使用

ロアッソ熊本の応援に行きました

10月26日㈰、11月2日㈰、11月29日㈰の三日間、ロアッソ熊本のホームゲームで、和水町のPRと試合の応援を行いました。

会場では、和水町のブランディングロゴのピッチボード掲出に加え、和水町のブースも出展し、和水町に関するアンケートにお答えいただいた方に、お米30キロ等が当たる抽選会を行いました。

また、最終戦である11月29日㈰には、約7,000人の観客が訪れ、ハーフタイムでは、元ロアッソ熊本の選手である原一樹氏とスタジアム内を周回し、広く和水町をアピールすることができました。

